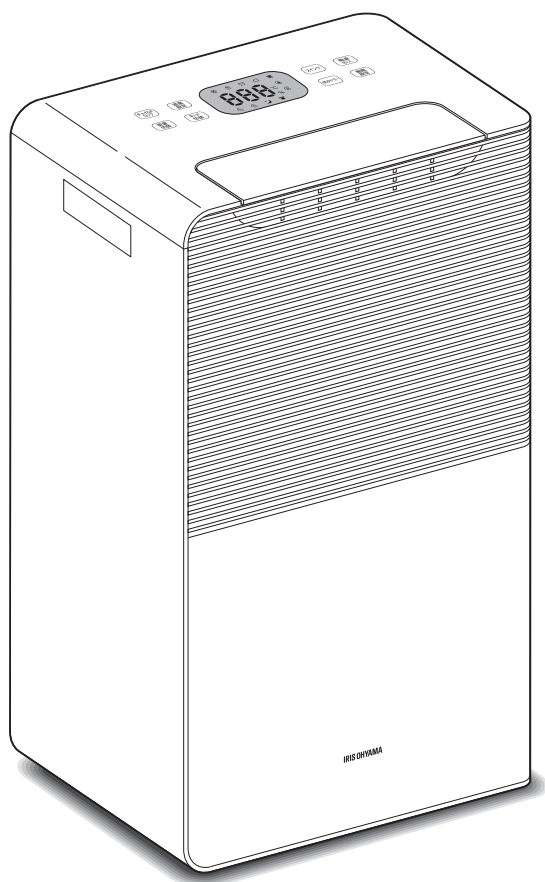


空気清浄機能付き除湿機

KDCP-J16H

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ず読んでください。
- この取扱説明書は使用する方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
除湿のしくみ	5
使用上の注意	5
各部の名称	6

取り扱いかた

保護装置について	8
準備	8
使いかた	10
お手入れ	15

こんなときには

別売品	16
故障かな？と思ったら	17
仕様	19
保証書	裏表紙
保証とアフターサービス	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。

- 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。



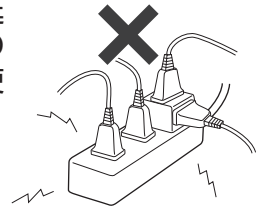
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。

- 電源コードを傷つけない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない

傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、はさみ込むなどしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない
火災の原因になります。



- 乳幼児に電源プラグをなめさせない
けがや感電の原因になります。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けが・やけどの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



水ぬれ禁止

- 水まわり、風呂場など湿気の多い場所では絶対に使用しない
- 水につけたり、水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。



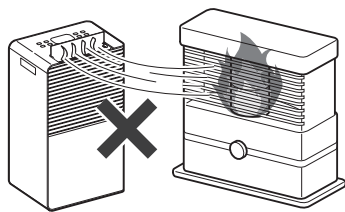
- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

【異常の例】

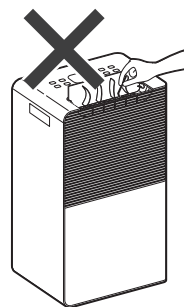
- 異常な音やにおいがする
- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中時々電源が切れる
- 触れるとビリビリ電気を感じる
- ➔ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



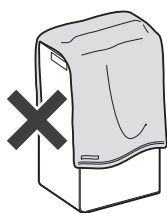
- 風をストーブなどの燃焼器具に向けない
不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。



- 吹き出し口や吸気口などのすき間に指や金属などの異物を入れない
感電やけがの原因になります。



- 風の流れをさえぎるようなものの周囲で使用しない
- 吹き出し口・吸気口を布や紙、ビニール袋でおおったりふさいだりして運転しない
過熱して火災の原因になります。



- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、可燃性のもののそばで使わない
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない
- スプレーをかけない
（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）
火災の原因になります。



- 屋外で使用しない
故障してショートや火災の原因になります。
- 押し入れや家具のすき間などせまい場所で使用しない
過熱して火災の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 加湿器などの蒸気が当たる場所で使わない
フィルター寿命が短くなったり、感電・故障の原因になります。



火気禁止

- 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを近づけない
火災の原因になります。



- 観葉植物などに風を直接当てない
植物がしおれることがあります。



- 周囲の壁などが汚れないように注意する
同じ場所で長期間使用する場合は、周囲の壁の汚れが目立つ前に、定期的に掃除をしてください。



- 水タンクを正しく取り付ける
水もれや周囲の汚損の原因になります。



- 運転停止直後には水タンクを取り外さない
本体の冷却器に残っている水が落ちてきて、水もれすることがあります。

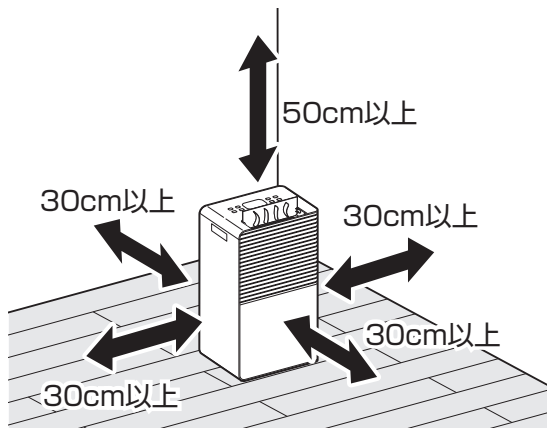


- 除湿した水を飲料用・飼育用・栽培用に使用しない
健康を害したり、害を及ぼしたりするおそれがあります。
- 水タンクに水をためたまま長期間放置しない
異臭や周囲の空気汚染の原因になります。

安全上の注意 つづき



- 風が、壁や家具、カーテン、電気製品などに直接当たらないところに設置する
- 設置の際は、壁・家具・カーテンなどから図に示す距離を空ける
家具や壁、カーテンなどの汚損の原因になります。
吹き出し口は、家具や壁、カーテン、電気製品などの方向へ向けないでください。



- 水平で安定した床の上で使用する
毛足の長いカーペットやふとんなどの上、不安定な床の上、台の上などに設置すると、転倒してけがをしたり水もれしたりするおそれがあります。



- 暖房機・テレビ・ホットカーペットなど電気製品の上に設置しない
転倒すると水がこぼれ、火災や電気製品の故障の原因になります。



- 水タンクのフロートを外さない
運転できなくなったり、水もれの原因になります。



- 燃焼器具と一緒に使う場合は換気する
一酸化炭素中毒の原因になります。
※ 本製品は、一酸化炭素などの有害物質を除去するものではありません。



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。



- 煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しない
空気清浄機内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて、健康を害するおそれがあります。
殺虫剤の使用後は、十分換気してから運転してください。

移動するときは



- 傷つきやすい床や、毛足の長い絨毯の上などを移動するときは、取っ手を持って持ち上げる
畳や床、絨毯に傷が付く原因になります。



- 運転を停止し、電源コードを抜いて、タンクの水を捨てる
感電、火災、水もれによる周囲の汚損の原因になります。



- 食品・医薬品・美術品・学術資料の保存など、業務・特殊用途に使用しない
本製品は家庭用として設計されています。業務・特殊用途に使用すると、保存品の劣化の原因になります。



- 乗ったり、寄りかかったりしない
- 幼児の手の届く範囲では使用しない
- 子供にいたずらさせない
転倒によるけがの原因になります。

除湿のしくみ

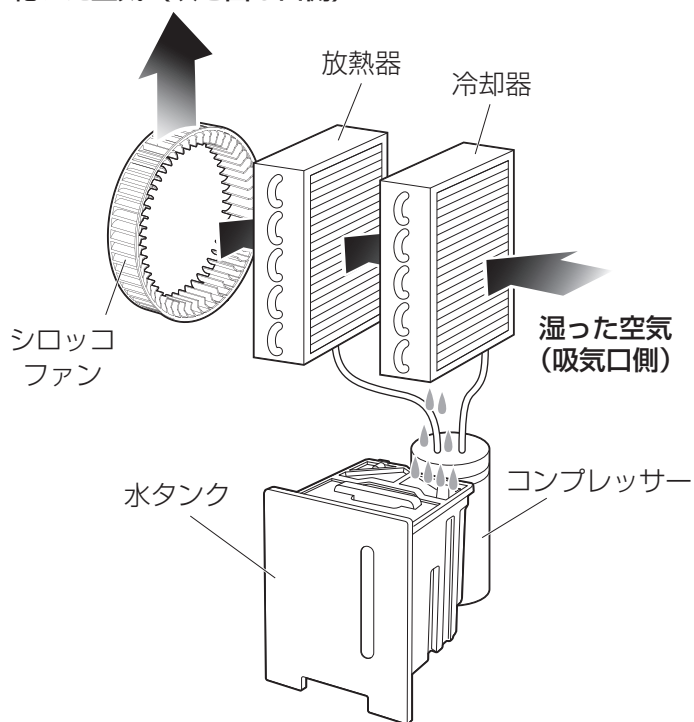
本製品はコンプレッサー式除湿機の機構を利用しています。

- ① 吸い込んだ空気を冷却器で冷やします。
- ② 空気中の水分は冷却器表面で結露し、水滴となってタンクにたまります。
- ③ 冷却器で奪った熱は、放熱器で除湿された空気に戻されます。

室温が上がります

本製品は冷房機器ではありません。
閉め切った部屋で使用すると、室温が上昇します。
また、太陽からの輻射熱や他の電気製品から出る熱があると、より室温が上昇する場合があります。

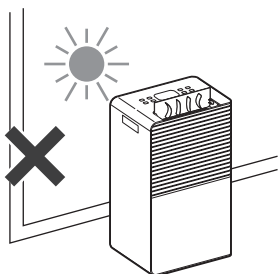
乾いた空気（吹き出し口側）



使用上の注意

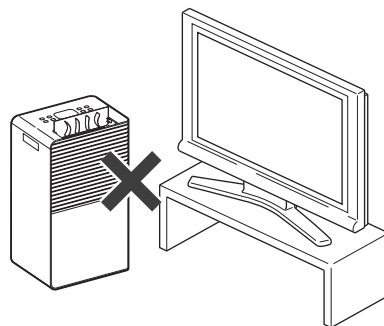
- フィルターを外したまま運転しないでください。
清浄効果が出ません。また、故障の原因になります。
- 破れたり、破損したフィルターは使わないでください。
故障・性能低下の原因になります。
- フィルターは専用のものを正しく取り付けてください。
- 換気扇のかわりに使わないでください。
- 食用油など油成分の浮遊している場所で使わないでください。
フィルター寿命が低下したり、故障の原因になります。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで使用しないでください。
変形・変色したり、誤動作することがあります。



- できるだけ閉め切った部屋で使用してください。
運転中に窓や扉を開閉して室内の湿度が大きく変わると、除湿量が低下する場合があります。

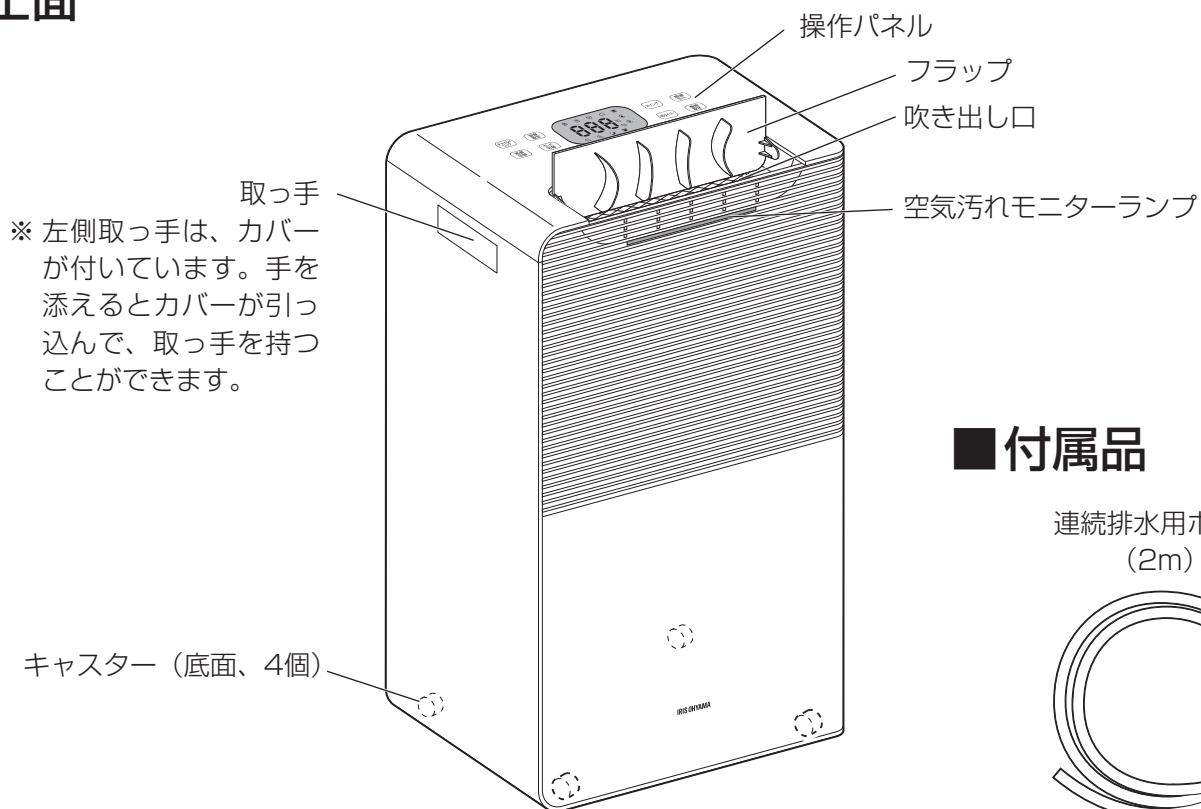
- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



- スピーカーやIH調理器（電磁調理器）など磁気の出る機器の近くには置かないでください。
正常に動作しないことがあります。

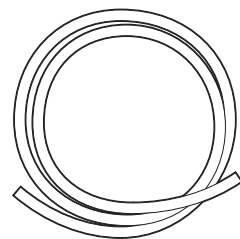
各部の名称

■正面

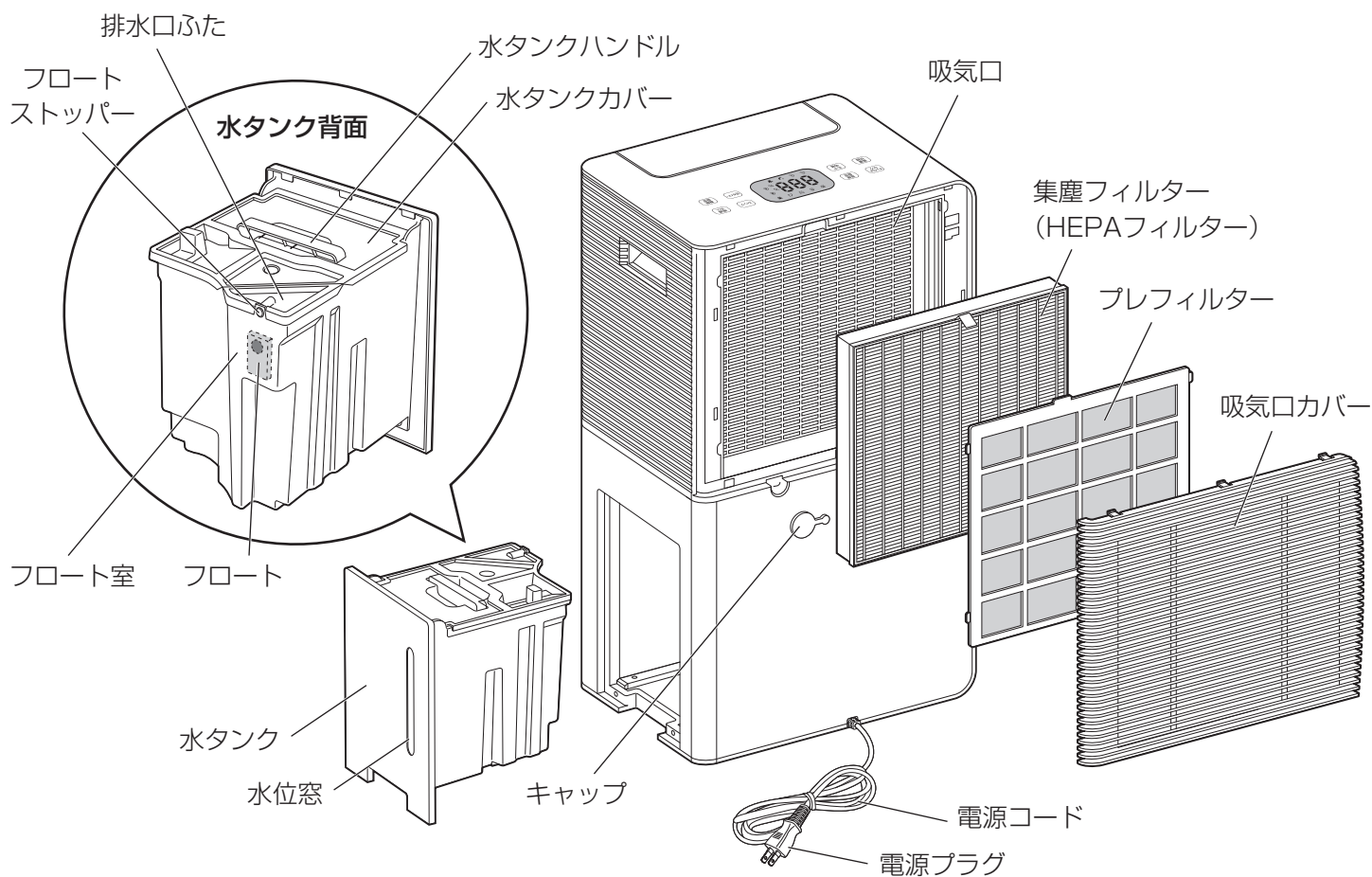


■付属品

連続排水用ホース
(2m)



■背面



■操作パネル

チャイルドロックボタン
ボタンを3秒間長押しするとチャイルドロックがかかります。再度ボタンを3秒間長押しするとチャイルドロックは解除されます。(→P13)

湿度設定ボタン
Ⓜ(手動)モードまたは🌙(静音)モードのときに、除湿の目標湿度を設定します。ボタンを押すたびに次のように目標湿度が切り替わります。(→P12)

→40% →...→ 80% → Co (連続)

満水ランプ
除湿機の水タンクが満水になると、除湿運転を停止し、点灯してお知らせします。(→P12)

電源 切/入ボタン
ボタンを押すと電源が入り運転を開始します。もう一度押すと運転は停止します。

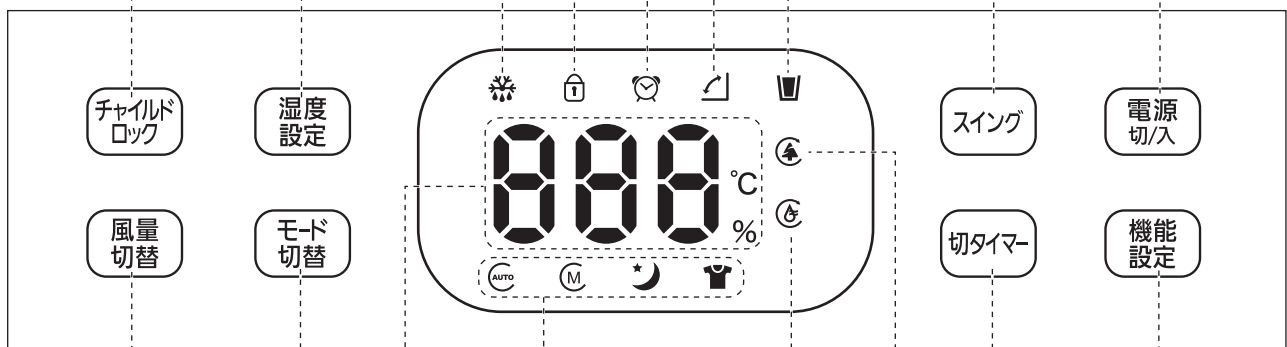
霜取りランプ
除湿機の凍結を防ぐために自動で霜取りをしているときに、点滅してお知らせします。(→P14)

チャイルドロックランプ

タイマーランプ

スイングランプ

スイングボタン
ボタンを押すとフラップが上下に動きます。もう一度押すとフラップは停止します。(→P12)



チャイルド
ロック

湿度
設定

風量
切替

モード
切替

スイング

電源
切/入

切タイマー

機能
設定

モードランプ

除湿運転ランプ

風量切替ボタン
Ⓜ(手動)モードのとき、ボタンを押すたびに風量が切り替わります。(→P11)

表示部
現在の湿度を計測して表示します。また、ボタン操作によって、Ⓜ(手動)モードまたは🌙(静音)モードのときの目標湿度、室温を表示します。(→P11)

空気清浄運転ランプ

機能設定ボタン
ボタンを押すたびに、次のように運転の機能が切り替わります。(→P10)
空気清浄 ↔ 空気清浄+除湿

モード切替ボタン
ボタンを押すたびに次のように運転のモードが切り替わります。(→P10)

→ AUTO → Ⓜ → 🌙 → 🧺 →
自動 手動 静音 衣類乾燥

切タイマーボタン
ボタンを押すと切タイマーの時間が設定され、切タイマーがスタートします。(→P14)

保護装置について

除湿運転中は、除湿機構を保護するために、保護装置が働くことがあります。

■異常時の除湿停止

- ・除湿機構に異常があると、除湿運転が停止します。異常があつて除湿が停止したときは、保護のために、3分以上経たないと除湿は再開しません。
- ・3分経たないうちに**機能設定**ボタンを押した場合は、**㊦**（除湿運転）ランプが点滅し、除湿は再開しません。
- ・3分以上経つと、故障がない場合は、**㊦**（除湿運転）ランプが点灯に変わり、除湿が再開します。

■高温高湿時の風量調節

高温高湿時は、除湿機構の保護のため、自動的に風量上がる場合があります。

- ・室温28～32℃、湿度75%以上で、風量の設定が**1～2**のときは、自動的に風量**3**の運転になります。
- ・室温32℃以上で、風量の設定が**1～3**のときは、自動的に風量**4**の運転になります。

■低温時／高温時の保護装置

- ・室温が0℃以下、または40℃以上になると、除湿機構の保護のため、**㊦**（除湿運転）ランプが点滅して除湿を停止します。
- ・室温が回復すると、**㊦**（除湿運転）ランプは点灯に変わり、除湿が再開します。

■低湿時／高湿時の保護装置

- ・湿度が30%以下、または90%以上になると、除湿機構の保護のため、除湿が停止します。このとき、**㊦**（除湿運転）ランプは点滅し、湿度表示には**Lo**または**Hi**が表示されます。

Lo

（湿度30%以下のとき）

Hi

（湿度90%以上のとき）

- ・湿度が回復すると、除湿が再開します。**㊦**（除湿運転）ランプは点灯に変わり、湿度表示は元に戻ります。

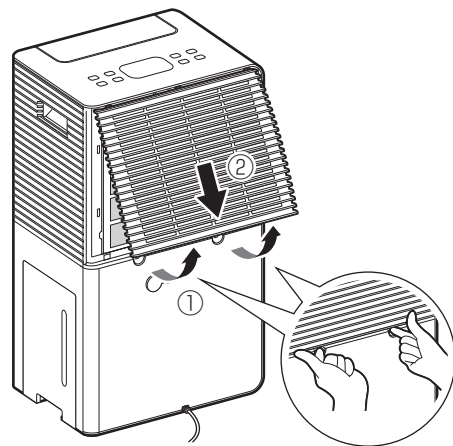
準備

■フィルターの取り付け

電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずフィルターの取り付けを行ってください。

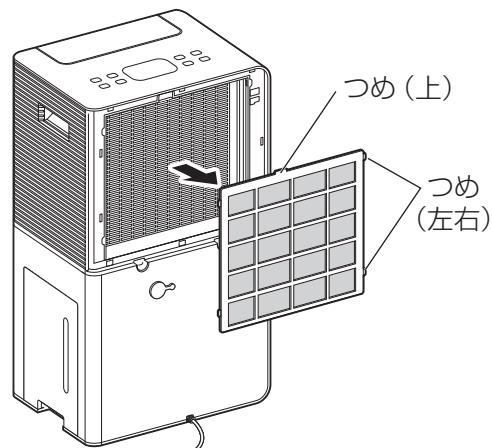
1 吸気口カバーを外す

- ・吸気口カバーの下側を手前に引いて（①）から下に引いて（②）外します。



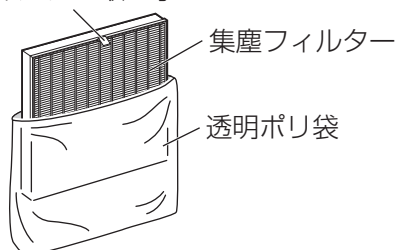
2 プレフィルターを外す

- ・つまめ（上）を手前に引きながら、つまめ（左右）を外して、取り出してください。



3 集塵フィルターをポリ袋から取り出す

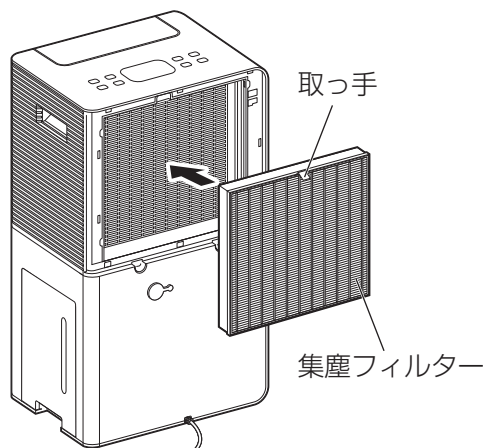
フィルター取っ手



- 品質保持のため、フィルターは透明ポリ袋に入ったままになっています。使用開始前に、必ず透明ポリ袋から取り出してください。

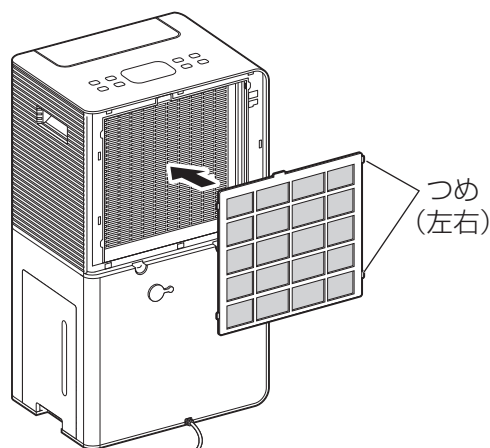
4 集塵フィルターを取り付ける

- ・ 取っ手のあるほうを、上側手前に向けてください。



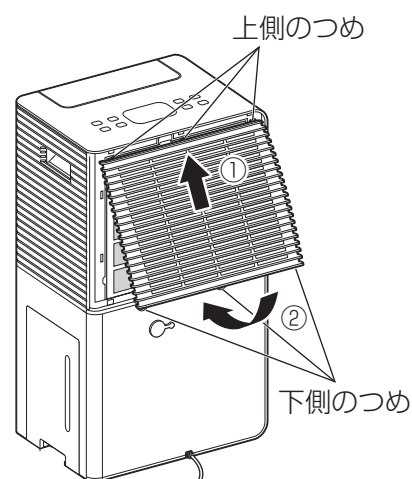
5 プレフィルターを取り付ける

- ・ プレフィルターの左右のつめ（4か所）を本体に差し込みます。
- ・ 左右のつめの位置が本体の穴に合うように、向きを合わせてください。



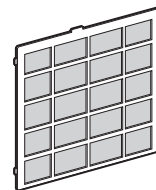
6 吸気口カバーを取り付ける

- ・ 上側のつめ（3か所）を本体の穴に差し込み、下側を持って押し込みます。
- ※ 上下のつめが確実に本体の穴に差し込まれるようにしてください。



■ フィルターの種類と捕集できるもの

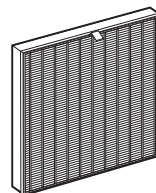
プレフィルター



ペットの毛、ほこり・ちり

集塵フィルター（HEPA フィルター）

- ・ 交換するときは、別売のIJCP-J160HFをお買い求めください。



たばこの煙、花粉やアレル物質、かびの胞子

HEPAフィルターについて

- ・ 0.3 μ m（マイクロメートル）のちりやほこりを99.97%捕集する性能を有しています。
（JIS B9908（換気用エアフィルタユニット・換気用電気集じん器の性能試験方法）に準じた試験方法による）
- ※ フィルター単体の性能であり、実使用空間での性能ではありません。

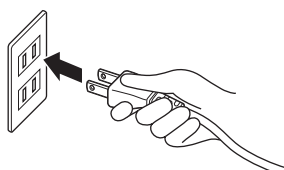
使いかた

- 水タンクが本体に確実にセットされていることを確認してください。水タンクが正しくセットされていないと、**■** (満水) ランプが点灯して、運転できません。

※ 何も操作をしないで12時間経過すると、自動で電源が切れ、運転を停止します。(切り忘れ防止機能、→P14)

1 電源プラグをコンセントに差し込む

- ・ ピピピピッ♪と音が鳴り、全ランプが点灯してから消灯します。



2 電源 切／入ボタンを押す

- ・ 閉じていたフラップが開き、運転が始まります。
- ・ 電源プラグを抜かずにおくと、前回使用した設定で運転を開始します



※ 機能設定が空気清浄と除湿両方運転の場合、運転の停止直後に再度電源を入にすると、除湿運転が開始されるまでは約3分かかります。その間は**Ⓒ** (除湿運転) ランプが点滅します。

3 運転の機能を選ぶ

- ・ **機能設定** ボタンを押すたびに、空気清浄と除湿両方の運転か、空気清浄だけの運転に切り替わります。
- ・ 運転中は **Ⓐ** (空気清浄運転) ランプが点灯します。空気清浄と除湿両方の運転にすると、**Ⓒ** (除湿運転) ランプが点灯または点滅します。

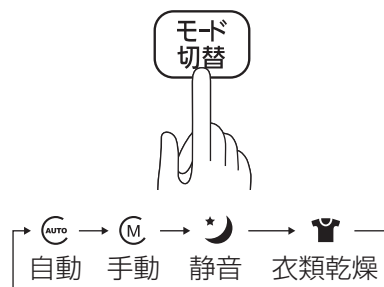
※ 除湿だけの運転は選べません。



- ・ **👕** (衣類乾燥) モード時に**機能設定** ボタンを押すと、空気清浄だけの運転に切り替わるとともに、**Ⓜ** (手動) モードに切り替わります。
- ・ 空気清浄と除湿両方の運転の場合、目標湿度に達するなどして除湿が停止しているときは、**Ⓒ** (除湿運転) ランプが点滅します。除湿が働いているときは、**Ⓒ** (除湿運転) ランプが点灯します。

4 運転のモードを選ぶ

- ・ **モード切替** ボタンを押すたびに次のようにモードが切り替わります。



Ⓐ (自動) モード

センサーで空気の汚れと湿度を検知して、自動で風量を調節します。風量は切り替えできません。

Ⓜ (手動) モード

設定した目標湿度と風量で運転します。

☾ (静音) モード

風量を1にして静かに運転します。風量を切り替えることはできません。

👕 (衣類乾燥) モード

空気清浄と除湿両方の運転になり、風量は**4**で運転します。風量は切り替えできません。
機能設定が空気清浄だけの運転のときは、**👕** (衣類乾燥) モードは選べません。

Ⓐ (自動) モード時の動作

機能設定が空気清浄だけの運転の場合

空気汚れ (モニターランプの色)	風量
ほぼ汚れていない (青)	1
少し汚れている (青紫)	2
汚れている (赤紫)	3
非常に汚れている (赤)	4

機能設定が空気清浄と除湿両方運転の場合

湿度	風量
60%以下 (機能設定の Ⓒ (除湿) ランプが点滅します。)	1 (除湿は停止します。)
60 ~ 70%	2
70%以上	3

■ 運転を停止するには

電源 切／入ボタンを押す



- 開いていたフラップが閉じ、運転が停止してすべてのランプが消灯します。
- ※ 何も操作をしないで12時間経過すると、自動で電源が切れ、運転を停止します。(切り忘れ防止機能、→P14)

■ 表示部

湿度の表示

- 機能設定が空気清浄と除湿両方の運転の場合、表示部に現在の湿度が表示されます。

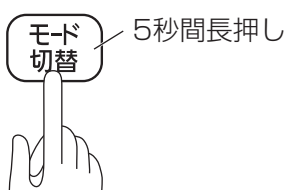
60 %

- (M) (手動) モード時に**湿度設定**ボタンを押したときは、目標湿度の表示になります。

室温の表示

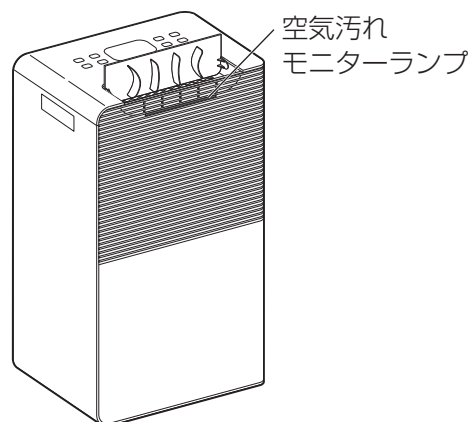
- 運転中に**モード切替**ボタンを5秒間長押しすると、表示部にセンサーで計測した室温が表示されます。

23 °C



■ 空気汚れモニターランプ

センサーで計測した空気の汚れ具合をランプの色で表示します。



モニターランプの色	空気の汚れ具合
青	あまり汚れていない
青紫	少し汚れている
赤紫	汚れている
赤	非常に汚れている

■ 風量

- (M) (手動) モード時に、**風量切替**ボタンを押すたびに、機能設定が空気清浄のみの運転の場合は1～4の間で、空気清浄と除湿両方の運転の場合は1～3の間で、風量が変わります。

※ (AUTO) (自動) モード時は、風量はセンサーによって自動で調節されます。

※ (静音) モード時は、風量は1に固定されます。

※ (衣類乾燥) モード時は、風量は4に固定されます。

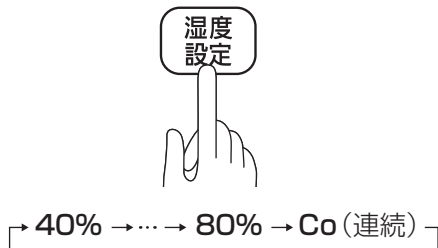


→ 01 → 02 → 03 → 04 (除湿運転中は選べません。)

※ 高温高湿時には、風量を低く設定しても、自動的に高い風量で運転することがあります。(→P8)

■湿度設定（空気清浄+除湿運転時）

- ・ **M**（手動）モードまたは **★**（静音）モード時、**湿度設定** ボタンを押すと、目標湿度が3秒間表示されます。さらにボタンを押すたびに次のように目標湿度が5%ずつ変わります。



- ※ **Auto**（自動）モードまたは **👕**（衣類乾燥）モード時は、目標湿度を設定することはできません。
- ※ **除湿** ランプが点灯または点滅していないときには、目標湿度を設定できません。
- ・ センサーで検知した室内の湿度が、目標湿度より高ければ除湿運転し、低くなると **除湿** ランプが点滅して除湿運転を停止します。
- ・ **Co**（連続）にすると、湿度にかかわらず連続除湿運転します。

■衣類乾燥（空気清浄+除湿運転時）

室内に洗濯物を干すときに、除湿した風を勢いよく当てることにより、効率よく乾燥させることができます。

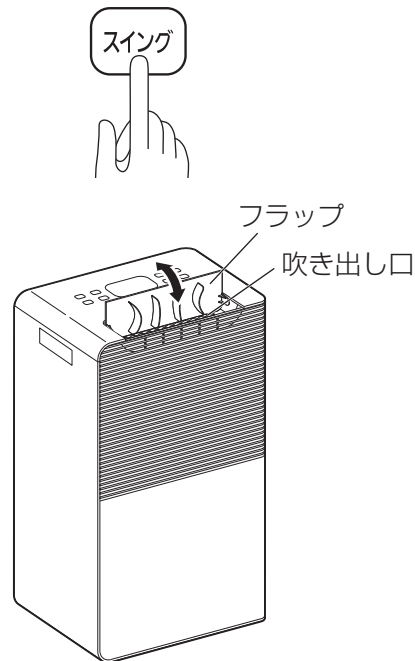
- ・ **モード切替** ボタンを押して **👕**（衣類乾燥）モードを選びます。
- ・ 連続除湿で、風量**4**で運転します。



- ・ 洗濯物にまんべんなく風を当てるために、**スイング** ボタンを押してフラップのスイングを入にしてください。

■スイング

- ・ **スイング** ボタンを押すと、フラップが上下にスイングします。もう一度押すとスイングは停止します。
- ・ 上下の風向きを調節するときは、スイングボタンを入／切してフラップの角度を調節してください。



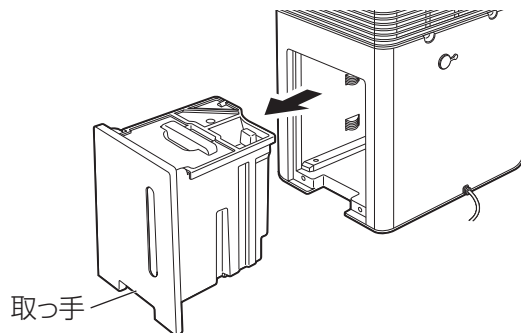
■満水ランプが点灯したら

- ・ 水タンクが満水になると、ブザーが鳴って **満水** ランプが点灯し、運転が停止します。
- ・ 水タンクを取り出して排水してください。空になった水タンクをセットすると、停止前の状態で運転を再開します。

排水のしかた

1 水タンクをゆっくり取り出す

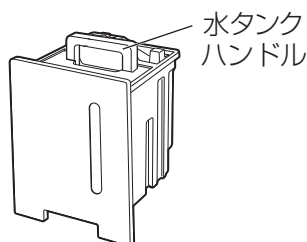
- ・ 水タンク下側の取っ手を持ち、水をこぼさないようにゆっくりと引き出してください。



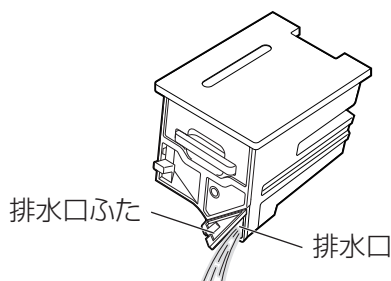
- 本体の冷却器に残っている水が落ちてくる可能性があるため、運転停止直後は水タンクを取り外さないでください。

2 水を捨てる

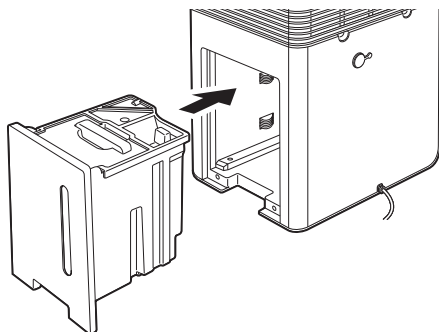
- 水タンクを持ち運ぶときは、水タンクハンドルを持ってください。



- 水タンク左後方の排水口ふたを開け、左後方（下図の向き）へ排水してください。
※ 右後方から水がもれないように左に傾けて排水してください。



3 水タンクを本体にセットする



● 水タンクを正しくセットしないと運転しません。



注意

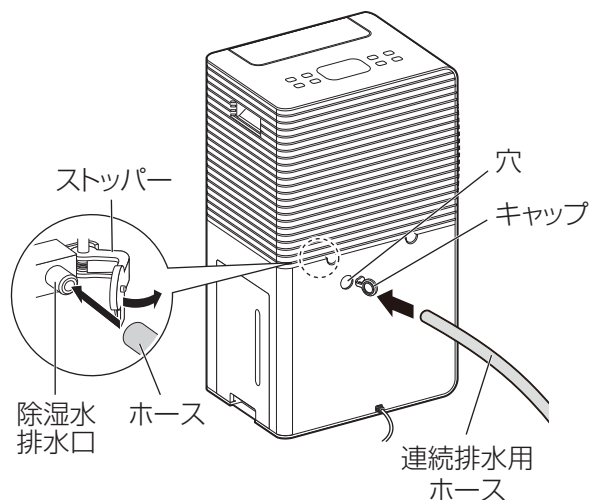
- フロート室に異物やごみが入っていないことを確認してください。満水時の自動停止が働かなくなります。
- フロートは絶対に外さないでください。満水を検知できなくなり、水があふれます。

■ 連続排水

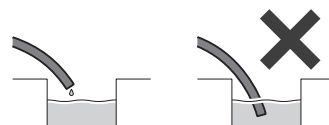
付属の連続排水用ホースを接続して排水すると、水タンクに除湿水をためずに連続で除湿できます。

ホースの接続

- 水タンクをセットすると本体内部の除湿水排水口のストッパーが開きます。本体後部の連続排水用ホース用穴からホースを挿入して、除湿水排水口に接続してください。



- ホースのもう一方は、確実に排水できる場所に向けてください。
※ ホースの先端は水の中に入れてください。排水できなくなり、水もれの原因になります。



■ チャイルドロック

子どものいたずら事故などを防ぐためにチャイルドロックをかけることができます。

- 運転中にチャイルドロックボタンを3秒間長押しすると、 (チャイルドロック) ランプが点滅してチャイルドロック以外のすべての操作ができなくなります。
- もう一度チャイルドロックボタンを3秒間押しと、チャイルドロックは解除されて、すべての操作ができるようになります。



- 電源プラグを抜き差しすると、チャイルドロックは解除されます。

■切タイマー

切タイマーを使うと、設定した時間後に運転を停止することができます。

- ・切タイマーボタンを押すたびに時間が切り替わり、切タイマーがスタートします。
- ・1時間単位で9時間まで設定できます。



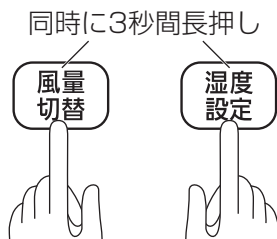
- ・切タイマー動作中は、 (切タイマー) ランプが点灯します。
- ・切タイマー動作中に切タイマーボタンを押すと、時間が設定し直され、切タイマーが再スタートします。
- ・切タイマー動作中でも、電源 切/入ボタンを押すと、切タイマーはキャンセルされて、電源が切れ運転を停止します。

■切り忘れ防止機能

何も操作をしないで12時間経過すると、自動で電源が切れ、運転を停止します。

切り忘れ防止機能のキャンセル

- ・湿度設定ボタンと風量ボタンを同時に3秒間長押しすると、「ピー」と鳴って、 (切タイマー) ランプが一瞬点灯し、切り忘れ防止機能がキャンセルされます。



- ・切り忘れ防止機能がキャンセルされると、操作にかかわらず24時間後に電源が切れて運転を停止します。

再度切り忘れ防止機能を働かせるには

- ・湿度設定ボタンと風量ボタンを同時に3秒間長押しすると、「ピッピッ」と鳴って、 (切タイマー) ランプが一瞬点灯し、再度切り忘れ防止機能が働きます。

■自動霜取り

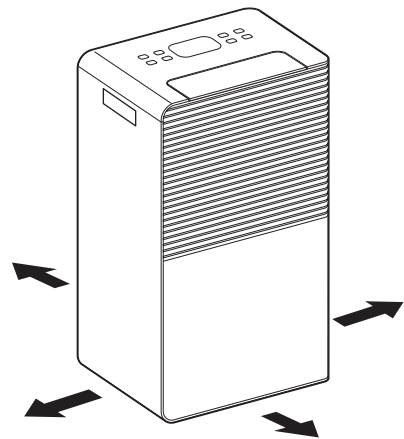
室温が低いと、内部に霜が発生することがあります。霜の発生する温度になると自動で霜取りを行います。

- ・35分間の通常運転の後、12分間の霜取りを行います。
- ・霜取り中は、 (霜取り) ランプが点灯し、除湿が停止して風量4で運転します。

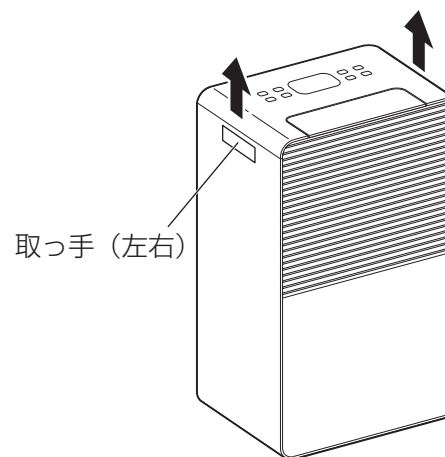
■移動のしかた

- 移動するときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、しばらくおき、水タンクを取り出して排水してから、動かしてください。

- ・水平方向には、底のキャスターで、持ち上げずに移動できます。



- 毛足の長い絨毯の上・傷つきやすい床の上などを移動するときは、取っ手を持って持ち上げてください。転倒してけがをしたり、引きずって床を傷つけたりける原因になります。



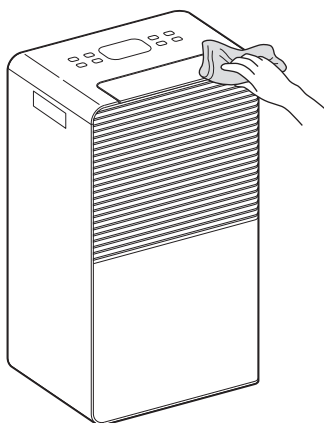
お手入れ

- シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。
- お手入れは、1か月に1回程度必ず行ってください。

■本体

水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませたやわらかい布をよく絞って、汚れを拭き取る

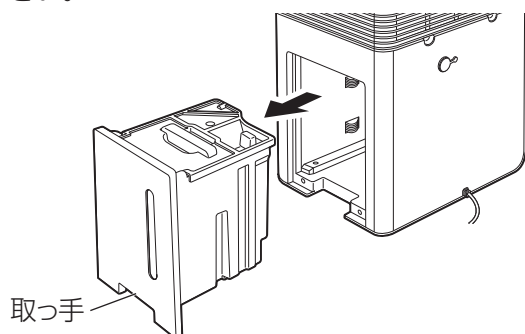
※汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、固く絞った布などで洗剤分を拭き取ってください。



■水タンク

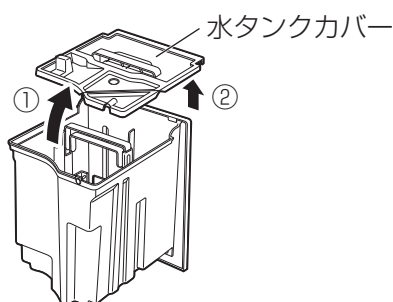
1 水タンクを引き出し、水を捨てる

- ・12～13ページの手順にしたがって排水してください。



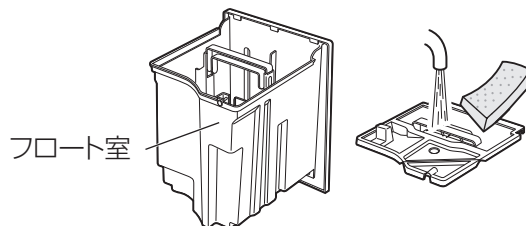
2 水タンクカバーを外す

- ・水タンクカバーの後端を上を持ち上げて外します。
- ※フロートが外れないように注意してください。



3 水洗いする

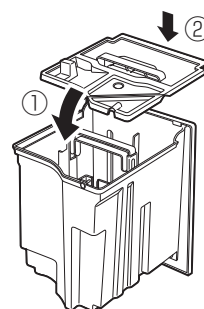
- ・フロート室内にごみや異物があったときは、洗い流してください。



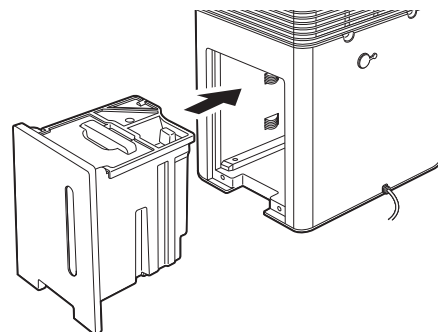
- ・洗った後、水をよく拭き取って、よく乾かしてください。

4 水タンクカバーを取り付ける

- ・水タンクカバーの後端をはめ込み、前端を下に押し込みます。

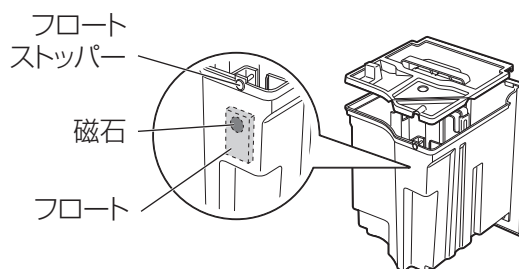


5 水タンクをセットする



フロートが外れたときは

- ・磁石部分を上側にして後方に向け、元どおりに取り付けてください。

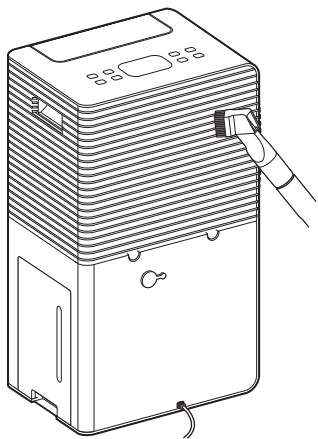


- タンクにはフロートが外れないようにストッパーが付いています。ストッパーが外れると、フロートも外れて満水を検知できなくなり、水があふれる可能性があります。

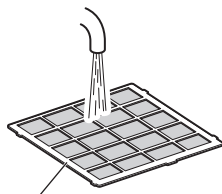
■ 吸気口カバー

掃除機などでごみを吸い取る

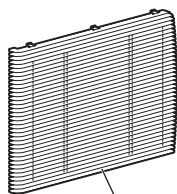
- ・ 吸気口カバーにごみがたまると風量が低下します。掃除機などで外側からごみを吸い取ってください。



- ・ 外側からごみが取りにくい場合は吸気口カバーを外し、プレフィルターを取り外して水洗いしてください。
- ・ 洗った後はよく乾かしてから取り付けてください。



プレフィルター



吸気口カバー

注意

- プレフィルターは破損しないように注意してください。
破れやすいので、強く洗わないでください。
- ※ プレフィルターが破損したときは、アイリスコールへお問い合わせください。
- 集塵フィルターはお手入れできません。
掃除機で吸ったり、水洗いしたりしないでください。強く押したり、まるめたりしないでください。
破損のおそれがあります。集塵フィルターは、破れると清浄効果が失われます。

■ フィルター交換

空気清浄機の集塵フィルターは消耗品です。約1年を目安に新しいものに交換してください。

- ・ 設置場所や使いかたによっては交換時期が早くなることがあります。
空気汚れモニターランプがなかなか青にならなかったり、空気清浄が働いてないと感じたときは、早めに交換してください。
- ・ 別売品（下記）を購入し、8ページの「準備」の手順にしたがって交換してください。
- ・ 交換するときは、汚れが飛び散らないように、新聞紙などを敷いて行ってください。

フィルターの廃棄について

- ・ 古いフィルターを廃棄するときは、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

集塵フィルターの材質

ポリプロピレン、ポリエステル

別売品

■ 集塵フィルター（HEPA フィルター）

品番：IJCP-J160HF

- 別売品についてはお買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
電源が入らない	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれてない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
運転しない (■ランプが点灯)	●水タンクが満水になっている	●水タンクの水を捨ててください。(→P12)
	●水タンクが正しくセットされていない	●水タンクを本体に正しくセットしてください。
	●水タンク内のフロートが動かない	●フロート室のごみや異物を取り除いて、フロートが動くようにしてください。
運転が止まった	●12時間何も操作しなかったため、切り忘れ防止装置が働いた	●電源 切/入ボタンを押すと運転が再開します。
運転しない (表示部にC1が点滅)	●霜取りセンサーの異常を検知している	●電源プラグを抜き、異常がないことを確認してから再度コンセントに差し込んでみてください。
運転しない (表示部にC2が点滅)	●室温センサーおよび湿度センサーの異常を検知している	
運転しない (表示部にC7が点滅)	●モーターの異常を検知している	
運転しない (表示部にC8が点滅)	●冷媒のもれを検知している	●運転を停止し、修理専用コールにご連絡ください。
除湿しない (Ⓔランプが点滅)	●除湿機に異常があった	●除湿機構に異常があって除湿運転が停止したときは、機能設定ボタンを押しても3分間は除湿開始しません。(→P8)
	●室温が0℃以下になっているので、保護装置が働いた	●室温が上がると、除湿を再開します。(→P8)
	●室温が40℃以上になっているので、保護装置が働いた	●室温が下がると、除湿を再開します。(→P8)
除湿しない (Ⓔランプが点滅、表示部にLoが表示)	●湿度が30%以下になっているので、保護装置が働いた	●湿度が上がると、除湿を再開します。(→P8)
除湿しない (Ⓔランプが点滅、表示部にHIが表示)	●湿度が90%以上になっているので、保護装置が働いた	●湿度が下がると、除湿を再開します。(→P8)

故障かな？と思ったら つづき

除湿しない (※ランプが点滅している、風量が最大になっている)	●自動霜取りが働いている (35分間の除湿運転の後、12分間霜取りが動作する)	●自動霜取りが終了すると元に戻ります。 (→P14)
除湿量が少ない	●湿度が低い	●湿度が低いと、除湿量は少なくなります。異常ではありません。
	●室温が低い	●コンプレッサー式除湿機の特徴で、室温が低いときは除湿量が少なくなります。異常ではありません。
操作していないのに風量が上がった	●高温・高湿のため、保護装置が働いた	●高温・高湿のときは、保護装置が働いて風量が上がる場合があります。温度・湿度が下がると元に戻ります。(→P8)
吹き出し口から風が少ししか出ない	●フィルターがポリ袋に入ったままになっている	●フィルターをポリ袋から出して、正しく取り付けてください。(→P8～9)
音が大きい		
においや煙が取れない	●フィルターを付け忘れている	●新しいフィルター(別売品)を購入し、交換してください。(→P8、16)
	●フィルターがつまっている	
床がぬれる	●本体が傾いている	●水平で安定した場所に設置してください。
	●水タンクに水が入ったまま移動した	●移動するときは水タンクの水を捨ててください。
	●運転停止後すぐに水タンクを取り外した	●本体内に残っている水滴が落ち切るまで待つから、水タンクを取り外してください。
	●水タンクカバーが正しく取り付けられていない	●水タンクカバーを正しく取り付けてください。(→P15)
	●水タンク内のフロートが外れている	●フロートを正しく取り付けてください。(→P15)
湿度が下がらない	●部屋が広すぎる	●適切な広さの部屋で使用してください。(→仕様、P19)
	●窓や扉、ドアの開閉が多い ●窓や扉、ドアが開いている	●窓や扉、ドアの開閉を控えてください。 ●窓や扉、ドアが開いていたら閉じてください。
	●石油ストーブなど、水蒸気の出る暖房器具を使用している	●水蒸気の出る暖房器具はできるだけ使用しないでください。

振動する

●不安定な場所に設置してある

●水平で安定した場所に設置してください。
(→P4)

除湿運転中に
室温が上がる

●閉め切った部屋で除湿運転すると、放熱のため室温が上がる

●除湿のしくみによるもので異常ではありません。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●自分で分解・修理・改造
しないでください。

仕様

電源		AC100V	
定格周波数		50Hz	60Hz
消費電力	空気清浄+除湿（自動）	240W	290W
	空気清浄のみ	40W	
定格除湿能力※1		14.0L / 日	16.0L / 日
空気清浄機の適用床面積※2		33㎡（20畳）	
除湿可能面積の目安※3	木造和室	33㎡（20畳）	
	プレハブ洋室	51㎡（31畳）	
	鉄筋コンクリート	67㎡（40畳）	
水タンク容量		約5Lで自動停止	
寸法（電源コードを除く）		幅384×奥行283×高さ659mm	
質量		18kg	
電源コード長		約1.9m	

※1 室温27℃、湿度60%を維持し続けたときの、1日（24時間）あたりの除湿量です。

※2 最大風量運転時（（一社）日本電機工業会規格JEM1467による）

※3 JEMA（（一社）日本電機工業会）規格に基づいた数値です。

※ 適用床面積は、保証値ではありません。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

廃棄について

● 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

冷媒に関する注意



この家庭用除湿機にはCO₂（温暖化ガス）236kgに相当するフロン類（R-134a）が封入されています。地球温暖化防止のため、廃棄にあたっては冷媒フロン類の適切な処理が必要です。お住まいの地域の方法にしがたい廃棄してください。フロン類に関するお問い合わせは、アイリスコールへお願いいたします。

空気清浄機能付き除湿機 KDCP-J16H

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間 ただし、消耗品（フィルターなど）を除く	
お客様	お名前		※ 販売店
	ご住所 〒		
	電話（ ） -		
		住所・店名	
		電話（ ） -	

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号 ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール 通話料無料

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール 通話料無料

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00 （年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

FAX でのお問い合わせは

通話料無料

0800-888-2600

Web からのお問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください